

授業 科目名	臨床看護学方法論Ⅱ (慢性期・終末期) (Methods II in Clinical Nursing)	履修年次 必修：看3年	2単位 30時間 コード：NSP203	担当教員名： 科目責任者：浅井美千代[看護師] (研究室：教育棟B319) 大塚知子[看護師]・坂本明子[看護師] 臼井智子[看護師]・三枝香代子[看護師] 田口智恵美[看護師]・大内美穂子[看護師]
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識、Ⅳ 健康づくりの実践、Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
疾患や障害により治療を必要とする患者とその家族への基本的看護援助方法を理解できる。				
①医療施設や地域社会で療養生活を送る回復期・慢性期・終末期にある患者とその家族への基本的看護援助方法を理解できる。②患者とその家族に対する看護計画立案方法を理解できる。				
〔授業の概要〕 病気や障害とともに生きる患者のセルフマネジメントを促すための原則的支援方法、回復期・慢性期リハビリテーションにおける原則的支援方法、終末期にある患者とその家族に対する原則的支援方法、及び、病気や障害の特徴に応じた看護援助方法について、実務経験に基づき教授する。さらに、グループワーク指導を通して、慢性期にある患者とその家族に対する看護計画立案方法について、実務経験に基づき教授する。				
キーワード：慢性疾患、生活習慣、セルフマネジメント、生活再構築、リハビリテーション				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	担当
第1回	6/17IV	セルフマネジメント支援	患者のセルフマネジメントを促す支援	浅井美千代
第2回	6/24III		セルフモニタリング・症状マネジメントへの支援	大塚 知子
第3回	6/24IV	慢性的な状態にある患者の看護	呼吸機能障害を抱えた患者の看護（慢性閉塞性肺疾患）	大塚 知子
第4回	7/1III		心機能障害を抱えた患者の看護（心不全）	坂本 明子
第5回	7/1IV		肝機能障害を抱えた患者の看護（肝硬変症）	浅井美千代
第6回	7/8III		免疫機能障害を抱えた患者の看護（膠原病）	浅井美千代
第7回	7/8IV		経過の緩慢な慢性疾患患者の看護（糖尿病）	特別講師
第8回	7/15III		リハビリテーションを受ける患者への基本的看護	浅井美千代
第9回	7/15IV		機能障害を抱えた患者の回復期看護	機能回復をはかる患者の心理的支援／他職種連携
第10回	7/22III	回復看護	運動機能障害を抱えた患者への回復期看護	三枝香代子
第11回	7/22IV		高次脳機能障害を抱えた患者への回復期看護	浅井美千代
第12回	7/24III	終末期にある患者の看護	終末期にある患者とその家族への全人的看護	浅井美千代
第13回	7/24IV	看護過程の展開方法	事例による看護過程展開のグループワーク	浅井・三枝
第14回	7/29III			田口・大内
第15回	7/29IV			大塚・坂本 臼井

履修条件	臨床看護学概論を履修していることが望ましい
予習・復習	テキストの該当ページを掲示する。テキストを読んで授業に臨むこと。 復習は、授業資料の見直しを推奨。
テキスト	成人看護学 慢性期看護，南江堂/ 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版，文光堂/ リハビリテーション看護，医学書院 / 成人看護学 成人看護技術，南江堂
参考書・参考資料等	その他、授業の中で適宜紹介する
学生に対する評価	定期試験(90%)、学習態度（10%）により評価する

授業 科目名	臨床看護学方法論Ⅲ (Methods Ⅲ in Clinical Nursing)	履修年次:	1 単位 30 時間	担当教員名: 科目責任者: 田口智恵美 [看護師] (研究室: 教育棟B320) 三枝香代子[看護師]・大内美穂子 [看護師]
		必修: 看3・4年	コード: NSP301	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅲ 実践に必要な知識, Ⅳ 健康づくりの実践, Ⅱ コミュニケーション能力				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 急性状況下にある患者とその家族に対する看護を行うための基本的知識・技術・態度を修得する ・術前期・術後期に用いられる看護基本技術を演習で実践できる。 ・術後期に起こりやすい事故の内容と事故予防のための行動及び事故発生時の行動を理解できる。				
〔授業の概要〕 本授業は、演習形式により、急性状況下の患者を想定して、術後合併症の観察や予防を目的とした術前期・術後期に用いられる主要な看護技術を実施する。また、グループワークにより、実際に起こった実習中の事故をもとに作成された事例を深く考察し、事故予防のための行動や事故発生時の行動について明確にする。				
キーワード:				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ィ マ	内 容	担当
第1回	月Ⅰ	術後の看護技術	【深部静脈血栓症の観察と予防】	田口智恵美 [看護師] 三枝香代子 [看護師] 大内美穂子 [看護師]
第2回	月Ⅱ		【医師が行う創の消毒法とガーゼ交換の介助】	
第3回	月Ⅲ		【尿と創部ドレーン排液の観察と測定】	
第4回	月Ⅳ		【術後ドレーン装着患者の離床援助】	
第5回	火Ⅰ		【点滴挿入中の術後患者の更衣・清拭】	
第6回	火Ⅱ	術前の看護技術	【器具を用いた呼吸の練習】 【呼吸音聴診】	
第7回	火Ⅲ		【深呼吸の練習】 【排痰法】 【含嗽法】	
第8回	火Ⅳ	術前日の看護	【臍処置】 【除毛】	
第9回	水Ⅰ		術前日の看護場面の設定	
第10回	水Ⅱ		術前日の看護場面の実際	
第11回	水Ⅲ	臨床での事故予防	臨床における事故予防についての学習	
第12回	木Ⅰ	術直後の看護	術後帰室 15 分後の患者のバイタルサイン測定 と観察の実際と技術チェック	
第13回	木Ⅱ			
第14回	木Ⅲ			
第15回	木Ⅳ			
履修条件		臨床看護学方法論Ⅰ、臨床看護学方法論Ⅱの単位を修得していることが望ましい。		
予習・復習		事前課題がある。		
テキスト		成人看護学 急性期看護Ⅰー概論・周手術期看護ー, 南江堂 成人看護学 成人看護技術, 南江堂		
参考書・参考資料等		その他、授業の中で適宜紹介する		
学生に対する評価		知識・技術の修得状況(80%)、学習態度(20%)により評価する		

授業 科目 名	ターミナルケア論 End-of-Life Care	履修年次 選択：看3年	1単位 15時間	担当教員名： 科目責任者 浅井美千代[看護師] (研究室：教育棟B319) 春日広美[看護師]・三枝香代子[看護師] 佐伯恭子[看護師]
		編3・4年	コード：NSP204	
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅰ 倫理観とプロフェッショナルリズム、Ⅱ コミュニケーション能力、Ⅲ 実践に必要な知識

〔授業の到達目標及びテーマ〕
①ターミナル期にある人々とその家族に対する原則的看護を理解できる。
②療養の場やライフステージに応じたターミナルケアの特徴を理解できる。

〔授業の概要〕
ターミナル期にある人々とその家族に対する原則的看護及びターミナルケアにおける倫理上の課題について教授する。また、病院（一般病棟・緩和ケア病棟・救急医療施設）および在宅におけるターミナルケアの特徴、高齢者および子どもへのターミナルケアの特徴について、実務経験に基づき教授する。

キーワード：終末期、ターミナルケア、療養の場、ライフステージ

〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	担当
第1回	4/15	ターミナルケア総論	終末期患者及び家族に対する原則的看護	浅井美千代
第2回	4/22	高齢者へのターミナルケア	終末期にある高齢者とその家族へのターミナルケア	佐伯恭子
第3回	5/13	病院におけるターミナルケア1	救急搬送され終末期に至った患者とその家族へのターミナルケア	三枝香代子
第4回	5/20	在宅におけるターミナルケア	在宅で療養する終末期患者とその家族へのターミナルケア	春日 広美
第5回	5/27	病院におけるターミナルケア2	入院患者とその家族へのターミナルケア（ホスピス緩和ケア病棟・緩和ケアチーム）	特別講義講師 [看護師]
第6回	6/3	子どもへのターミナルケア	終末期にある子どもとその家族へのターミナルケア	特別講義講師 [看護師]
第7回	6/10	ターミナルケアにおける倫理上の課題	ターミナルケアにおける倫理的課題	特別講義講師 [看護師]
第8回	6/17	まとめ	授業全体のまとめ	浅井美千代

履修条件	特になし
予習・復習	各担当教員の指示による
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	授業の中で適宜紹介する。
学生に対する評価	定期試験（90%）と学習態度（10%）により評価する。

授業 科目 名	急性期看護学実習 (Critical Care : Nursing Practicum)	履修年次 必修： 看3・4年	2単位 90時間 コード：NSP302	担当教員名： 科目責任者 浅井美千代[看護師] (研究室：教育棟 B319) 三枝香代子[看護師] 田口智恵美[看護師] 大内美穂子[看護師]
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅰ 倫理観とプロフェッショナルリズム, Ⅱ コミュニケーション能力, Ⅳ 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕 急性状況下にある成人患者及びその家族に対する看護を行うために必要な基本的知識・技術・態度を修得する。 1) 急性状況下にある成人患者及びその家族に対し、人々の発達段階を踏まえながら、適切な看護援助を行うことができる。 2) 専門職業人として適切な態度・意欲をもって実習に臨むことができる。				
〔授業の概要〕 この授業は、急性期治療をうける成人患者への看護実践を通して、上記に示す到達目標の達成をめざす。学生は原則的に患者1名を受け持ち看護計画をたてて看護を実施・評価する。看護師の実務経験を基盤にした担当教員の指導が臨床指導者と共に、個別指導や集団指導およびカンファレンスを計画しながら、学生の臨床での学びを支援する。				
キーワード：成人期，急性期，看護過程				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	担当
第1回		ガイダンス	実習の目的・方法	浅井美千代 三枝香代子 田口智恵美 大内美穂子
第2回		実習施設オリエンテーション 受け持ち患者の情報収集	実習施設オリエンテーション 受け持ち患者の決定と情報収集	
第3-9回		病棟実習	・ 原則的に患者1名を受け持ち、看護計画をたてて看護を実施・評価する。 ・ 受け持ち患者が手術室、ICU等に入室する場合は学生も入室し実習を行う。 実習施設は、千葉県がんセンター、千葉県総合救急災害医療センター、東京歯科大学市川総合病院を予定している。	
第10回		実習評価	実習評価	
履修条件		臨床看護学概論、看護技術論Ⅳ・Ⅴ、臨床看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習の単位を既に修得していること、臨床看護学方法論Ⅲの単位を修得見込みであること		
テキスト		特になし		
参考書・参考資料等		特になし		
学生に対する評価		実習目標（知識・技術・態度意欲の各項目）への到達度（100%）により評価する		

授業 科目 名	慢性期看護学実習 (Chronic Illness Care : Nursing Practicum)	履修年次 必修：看3・4年	3単位 135時間 コード：NSP302	担当教員名： 科目責任者 浅井美千代[看護師] (研究室：教育棟 B319) 大塚知子[看護師] 坂本明子[看護師] 臼井智子[看護師]
		実務経験のある教員による授業科目		

〔DP〕Ⅰ 倫理観とプロフェッショナリズム, Ⅱ コミュニケーション能力, Ⅳ 健康づくりの実践				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
回復期・慢性期にある成人患者及びその家族に対する看護を行うために必要な基本的知識・技術・態度を修得する。				
1) 回復期・慢性期にある成人患者及びその家族に対し、人々の発達段階を踏まえながら、適切な看護援助を行うことができる。				
2) 専門職業人として適切な態度・意欲をもって実習に臨むことができる。				

〔授業の概要〕				
この授業は、回復期・慢性期にある成人患者への看護実践を通して、上記に示す到達目標の達成をめざす。学生は原則的に患者1名を受け持ち看護計画をたてて看護を実施・評価する。看護師の実務経験を基盤にした担当教員の指導が臨床指導者と共に、個別指導や集団指導およびカンファレンスを計画しながら、学生の臨床での学びを支援する。				

キーワード：成人期，回復期，慢性期，看護過程，外来看護				
-----------------------------	--	--	--	--

〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	担当
第1回		ガイダンス 実習前演習 実習施設オリエンテーション	実習の目的・方法 実習に必要な看護技術の演習 実習中の事故予防に関する演習 実習施設オリエンテーション	浅井美千代 大塚知子 坂本明子 臼井智子
第2回		受け持ち患者の情報収集	受け持ち患者の決定と情報収集	
第3回		看護計画立案	個別学習と集団指導により看護計画立案	
第4-14回		病棟実習	・ 原則的に患者1名を受け持ち、看護計画を たてて看護を実施・評価する。 実習施設は、東京歯科大学市川総合病院、 千葉大学医学部附属病院、千葉中央メディ カルセンターを予定している。	
第15回		実習評価	実習評価	

履修条件	臨床看護学概論、看護技術論Ⅳ・Ⅴ、臨床看護学方法論Ⅰ・Ⅱ、基礎看護学実習の単位を既に修得していること、臨床看護学方法論Ⅲの単位を修得見込みであること
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	特になし
学生に対する評価	実習目標（知識・技術・態度意欲の各項目）への到達度（100%）により評価する

授業 科目名	精神看護学概論 Introduction to Mental Health and Psychiatric Nursing	履修年次: 必修：看1年 編3年	単位数: 1単位 15時間 コード: NSP205	担当教員名: 科目責任者 小宮浩美 [看護師] (研究室 教育棟 B315)
[DP] Ⅲ. 実践に必要な知識 Ⅰ. 倫理観とプロフェッショナリズム Ⅱ. コミュニケーション能力				
[授業の到達目標及びテーマ]				
1) こころの健康の回復や保持増進のために必要な基礎知識について説明できる。 2) 看護職者として他者とコミュニケーションする際に必要な技術と態度が習得できる。 3) 現代社会における精神看護の役割について説明できる。				
[授業の概要]				
本授業は、こころの健康の回復や保持増進のために必要な基礎知識と技術、態度について学修することを目的とする。精神看護学とこころの健康についての理論的な理解の上に、ライフサイクルとこころの健康問題、環境におけるこころの健康問題、医療におけるコミュニケーション、精神保健医療における歴史的変遷について、精神科看護師の実務経験を活かした講義形式により教授し、精神看護の役割について学ぶ。				
キーワード: 精神的健康、精神看護学、精神的発達、コミュニケーション、ケア				
[授業計画]				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	
第1回	11/19	ガイダンス こころの健康について	ガイダンス こころの健康とは何か (半コマ授業) 予習：こころの健康とはどのような状態にあることをいうのか、様々な世代や立場の人から意見を聞き、文章で整理しておく。 復習：こころの健康について、様々な定義をもとに自分の考えをまとめる。	
第2回	11/26	こころ (精神) のとらえ方	脳の構造と認知機能、精神 (心) の構造と働き	
第3回	12/3	こころ (精神) の発達に関する主要な考え方と健康問題	ライフサイクルにおける精神的健康問題と精神発達の理論 (フロイトの精神的発達理論、エリクソンの漸成的発達理論、Mahlar の分離個体化理論)	
第4回	12/10	環境におけるこころ (精神) の健康問題	家族と精神 (心) の健康、暮らしの場と精神 (心) の健康、現代社会と精神 (心) の健康 (虐待、アルコール依存症、うつ病、自殺、ハラスメント、DV)	
第5回	12/17	こころ (精神) の危機状況と精神保健	危機理論、ストレス、ストレスマネジメント	
第6回	1/7	医療におけるコミュニケーション	ケア、コミュニケーション、コミュニケーション技術	
第7回	1/14	精神保健医療福祉の歴史と現在の姿と精神看護の役割	諸外国と日本の精神保健医療の歴史、精神保健医療福祉制度と看護の役割	
第8回	1/21	まとめ	授業全体を通じたまとめ	
履修条件		特になし		
予習・復習		第1回は本シラバス参照。第2回以降の予復習内容は、初回ガイダンスで説明する。		
テキスト		精神看護学概論 精神保健 (新体系看護学全書―精神看護学) 岩崎 弥生 (編集), 渡邊 博幸 (編集) メジカルフレンド社		
参考書・参考資料等		特に指定しない。授業の中で適時紹介する。		
学生に対する評価		小テスト (5%)、定期試験 (60%)、課題 (30%)、学習態度 (5%) により総合的に評価する。		

授業 科目名	高齢者・在宅看護学概論 (Introduction to Gerontological and Home Care Nursing)	履修年次: 看1、編3	単位数: 1単位15時間 コード: NSP206	担当教員名: 木内千晶[看護師](研究 室: 教育棟B305)、 春日広美[看護師]
実務経験のある教員による授業科目				
〔DP〕Ⅰ倫理観とプロフェッショナリズム、Ⅲ実践に必要な知識、Ⅵ多職種との連携				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 我が国の人口構造の推移と今後の見通しを理解できる 2. 高齢者の暮らしを支える保健医療福祉制度や権利擁護制度の概要を理解できる 3. 地域包括ケアシステムの中での在宅看護の位置づけを理解できる 4. 在宅看護の概念、対象とその支援者および看護との連携、関連制度を理解できる				
〔授業の概要〕				
この授業は、講義形式により、わが国の高齢者や在宅療養者の暮らしを支える保健医療福祉制度の概要について理解することを目的とする。また、高齢者や在宅療養者に対する看護実践において活用可能なモデル・理論について概説をすると共に、高齢者や在宅療養者に対する看護実践の現状とその課題について学習する。				
キーワード: 高齢者、在宅療養者、介護保険制度、看護				
〔授業計画〕				
回数	日付	テーマ	内 容	担当
第1回	10/1	高齢化が進む我が国の現状	ガイダンス、高齢者人口の推移、多様な高齢者像、老化のメカニズム	木内千晶
第2回	10/8	高齢者看護の目標 高齢者看護を支える理論	高齢者看護のなりたちと高齢者看護の役割、目標、諸理論	木内千晶
第3回	10/15	高齢者の発達課題 保健医療福祉制度の変遷	高齢者のライフサイクルと発達課題 高齢者を取り巻く保健医療福祉制度	木内千晶
第4回	10/22	高齢者の権利擁護	高齢者の権利擁護、高齢者虐待	木内千晶
第5回	10/29	高齢者の生活と健康	地域包括ケアシステム 高齢者のヘルスプロモーション	木内千晶
第6回	11/5	在宅看護の概念	在宅看護の概念、社会的背景、歴史	春日広美
第7回	11/12	在宅看護の対象と関連制度	・在宅看護の対象 ・介護保険・医療保険制度の概要	春日広美
第7.5回	11/19	地域共生社会と在宅看護	地域共生社会を実現するための地域包括ケアシステムと在宅看護の役割	春日広美
履修条件		特になし		
予習・復習		予習には講義のテーマに関連する新聞記事や書籍を読んでおくことを推奨する。復習には、講義で配布した資料の見直しを推奨する。		
テキスト		(高齢者) 新体系看護学全書 老年看護学①メジカルフレンド社 (在宅) 新体系看護学全書 地域・在宅看護論 メジカルフレンド社		
参考書・参考資料等		授業において適宜紹介する。		
学生に対する評価		定期試験(70%)、レポート課題 高齢者/在宅(各10%=20%)、学習態度(10%)により、総合的に評価する。 ※本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと(但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。		

授業 科目 名	高齢者・在宅看護学方法論Ⅰ (Methods I in Gerontological and Home Care Nursing)	必修： 看2年	1 単位 30 時間 コード：NSP207	担当教員名：科目責任者 春日広美〔看護師〕（研究室 B312） 木内千晶〔看護師〕（研究室 B305） 佐伯恭子〔看護師〕 成玉恵〔保健師〕
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱコミュニケーション能力、Ⅲ実践に必要な知識、Ⅵ多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 高齢者、在宅療養者の加齢にともなう身体的・心理的・社会的変化を理解できる。 2. 高齢者、在宅療養者の身体、精神、生活の状況をふまえた看護を考えることができる。 3. 地域共生社会における高齢者、在宅療養者の暮らしを考察できる。				
〔授業の概要〕				
高齢者・在宅療養者を身体・心理・社会的側面から包括的に把握し、対象の特性に応じた看護援助を実践するための基礎的知識・技術を学習する。また、地域における対象の暮らしを支えるための社会制度、背景を理解する。				
キーワード：高齢者、在宅療養者、家族、介護保険制度、老化、地域共生社会				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回	10/6	高齢者の特徴とアセスメント①	高齢者の身体、心理、社会的特徴を理解する	木内千晶
第2回	10/20	高齢者の特徴とアセスメント②	高齢者の総合的機能評価について理解する	木内千晶
第3回	10/27	高齢者の生活を支える援助①	排泄の援助について理解する（便秘と尿失禁を中心に）	佐伯恭子
第4回	11/10	高齢者の生活を支える援助②	基本動作の援助について理解する（転倒予防を中心に）	木内千晶
第5回	11/17	高齢者の生活を支える援助③	活動と休息の援助について理解する（睡眠を中心に）	木内千晶
第6回	12/1	認知機能の障害と看護①	認知症高齢者への看護（予防・うつを含む）を理解する	佐伯恭子
第7回	12/8	認知機能の障害と看護②	認知症高齢者への看護（せん妄を含む）を理解する	佐伯恭子
第8回	12/15	高齢者の生活を支える援助④	コミュニケーションの援助について理解する	木内千晶
第9回	12/22	訪問看護制度と現状	訪問看護制度とは、訪問看護の現状	春日広美
第10回	1/5	地域包括ケアシステムにおける看護	地域に暮らす様々な対象の生活を支える看護の役割	成玉恵
第11回	1/19	在宅におけるケアマネジメント①	ケアマネジメントの実践 事例を用いたケアプランの作成	成玉恵
第12回	1/26	在宅におけるケアマネジメント②	ケアマネジメントの実践 ケアプランのフィードバック	成玉恵
第13回	1/28	ケアマネジメントの実際	ケアマネジメントの実際と看護との連携	特別講師 〔居宅介護支援専門員〕
第14回	2/2	在宅診療の実際	在宅診療の実際と訪問看護との連携	特別講師 〔医師〕
第15回	2/3	在宅へ移行する患者への退院支援	病院・施設・在宅を繋ぐ移行支援の考え方と実際	春日広美
履修条件		特になし		
予習・復習		予習：該当箇所のテキストを読んでおく。 復習：毎回の学習目標の達成度を自己評価し、不足について復習する。		
テキスト		（高齢者）新体系看護学全書 老年看護学①②メヂカルフレンド社 （在宅看護学）新体系看護学全書 地域・在宅看護論 メヂカルフレンド社		
参考書・参考資料等		講義時に適宜紹介する。		
学生に対する評価		定期試験（70%）、授業内課題 高齢者/在宅（各 10%＝20%）学習態度 10% ※本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと（但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含まれない）		

授業 科目名	高齢者看護学方法論Ⅱ (Methods II in Gerontological Nursing)	履修年次:	1 単位 30 時間	担当教員名: 木内千晶 [看護師] (研究室: 教育 棟 B305)、佐伯恭子[看護師]、東辻 朝彦[看護師]、青木綾香[看護師]
		必修 看 3 年	コード: NSP208	
		実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱ. コミュニケーション能力 Ⅲ. 実践に必要な知識、Ⅵ. 多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 高齢者がかかりやすい疾患の特徴やその治療内容を踏まえた上で、高齢者とその家族に提供すべき看護について具体的に考えることができる。				
2. 高齢者の健康や生活を支える看護過程の展開について理解できる。				
〔授業の概要〕 この授業では、老化に関連する疾病や障がいをもつ高齢者とその家族への援助方法について講義と演習を組み合わせ教授する。特に、疾病や障がいが高齢者とその家族の生活に及ぼす影響を踏まえた上で、高齢者の尊厳を守りつつ、自立支援を念頭に置いた援助の方法を学ぶ。				
キーワード: 高齢者、家族、疾患、健康障がい、自立支援、看護過程				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第 1 回	4/9	根拠に基づく看護実践の理解①	脱水・浮腫が認められる高齢者への看護を考える	木内千晶
第 2 回	4/16	根拠にも続く看護実践の理解②	運動器疾患をもつ高齢者への看護を考える	佐伯恭子
第 3 回	4/23	高齢者への看護技術の実践①	フレイルが認められる高齢者への栄養とリハビリテーションに関する看護を理解する	特別講師 [看護師]
第 4 回	4/30	根拠に基づく看護実践の理解③	栄養状態をアセスメントする視点を理解する	佐伯恭子
第 5 回	5/14	根拠に基づく看護実践の理解④	感染性疾患 (疥癬) をもつ高齢者への看護を考える	木内千晶
第 6 回	5/14	根拠に基づく看護実践の理解⑤	パーキンソン病をもつ高齢者への看護を考える	木内千晶
第 7 回	5/21	根拠に基づく看護実践の理解⑥	COPD をもつ高齢者への看護を考える	木内千晶
第 8 回	5/28	根拠に基づく看護実践の理解⑦	視聴覚機能の低下が認められる高齢者への看護を考える	佐伯恭子
第 9 回	6/4	高齢者への看護技術の実践②	高齢者の看護過程の展開①	木内、他
第 10・11 回	6/11 6/18	高齢者への看護技術の実践③④	高齢者のフィジカルアセスメント	東辻、他
第 1 2 回	6/25	高齢者への看護技術の実践⑤	高齢者の看護過程の展開②	青木、他
第 1 3 回	7/9	高齢者への看護技術の実践⑥	血液透析療法を受ける高齢者への看護を考える	佐伯恭子
第 1 4 回	7/9	高齢者への看護技術の実践⑦	高齢者の看護過程の展開③	青木、他
第 1 5 回	7/16	高齢者への看護技術の実践⑧	高齢者の看護過程の展開④	青木、他
履修条件		特になし		
予習・復習		予習はテキストを読んでおくことを推奨する 復習は講義で配布した資料の見直しを推奨する		
テキスト		新体系看護学全書 老年看護学①②メヂカルフレンド社 看護診断の看護過程ガイド 中央法規		
参考書・参考資料等		講義時に適宜紹介する		
学生に対する評価		定期試験 (80%)、課題 (10%)、学習態度 (10%) により、総合的に評価する。 ※本授業の終了時には、ポートフォリオに基づく振り返りを行うこと (但し、ポートフォリオの記述内容は評価に含めない)。		

授 業 科 目 名	在宅看護学方法論Ⅱ	履修年次	1 単位 30 時間	担当教員名：科目責任者 春日広美〔看護師〕（研究 室：B312）成玉恵〔保健師〕
	Methods Ⅱ in Home	必修：看3年	コード：NSP209	
	Care Nursing	実務経験のある教員による授業科目		
〔DP〕Ⅱコミュニケーション能力、Ⅲ実践に必要な知識、Ⅵ多職種との協働				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
1. 様々な在宅看護の対象が持つ健康および生活の障害を実践的に査定できる。				
2. 様々な対象の多様な生活の場の特徴を考慮した看護活動を模擬的に実践できる。				
3. 地域包括ケアシステムにおける在宅ケアチームの一員としての役割を実践的に理解できる。				
〔授業の概要〕在宅看護の対象が望む生活を支える看護を提供するための基礎的な知識・技術、態度を学ぶ。また、協働して対象の生活を支える在宅ケアチームでの連携を学び、地域包括ケアシステムにおける看護の役割を理解する。これらを、演習を中心とした授業形式で学ぶ。				
キーワード：生活の場での観察とアセスメント 在宅看護過程 在宅ケアチーム				
〔授業計画〕				
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当
第1回	4/9	オリエンテーション 在宅看護に関する知識の確認	オリエンテーション、訪問看護制度、ケアマネジメン ト、多職種連携の現状と課題	春日 広美
第2回	4/16	様々な対象への看護（小児）	小児とその家族への看護	特別講師 〔訪問看護師〕
第3回	4/23	様々な対象への看護（精神障害）	精神疾患療養者とその家族への看護	特別講師 〔訪問看護師〕
第4回	4/30	生活の場での観察アセスメント① 様々な対象への看護 （認知症独居高齢者）	1. 在宅における看護師の観察とアセスメント 2. 在宅におけるケア提供の特性 3. 認知症独居高齢者の生活（事例）	春日・成
第5回	5/7	生活の場での観察アセスメント②	在宅における看護師の観察とアセスメントの実践1	春日・成
第6回		生活の場での観察アセスメント③	在宅における看護師の観察とアセスメントの実践2	春日・成
第7回	5/21	在宅における医療的ケアと管理	1.人工呼吸器、酸素療法、中心静脈栄養法の管理 2.在宅医療管理システム、	春日 広美
第8回	5/28	在宅看護過程	1.在宅看護アセスメント、計画立案 2.在宅看取りについて	春日 広美
第9回	6/4	様々な対象への看護（在宅看取り）①	看取り期にある療養者とその家族への看護（事例）	春日 広美
第10回	6/11	様々な対象への看護（在宅看取り）②	看取り期にある療養者とその家族への看護の実践①	春日・成
第11回	6/18	様々な対象への看護（在宅看取り）③	看取り期にある療養者とその家族への看護の実践②	春日・成
第12回	6/25	様々な対象への看護（難病）①	難病療養者とその家族への看護 事例を用いた在宅看護アセスメント、計画立案	成・春日
第13回	7/2	様々な対象への看護（難病）②	難病療養者とその家族への看護の実践①	成・春日
第14回		様々な対象への看護（難病）③	難病療養者とその家族への看護の実践②	成・春日
第15回	7/16	在宅看護の現状と未来	世界の在宅看護、未来の在宅看護、在宅遠隔医療	春日 広美
履修条件		高齢者・在宅看護学概論，高齢者・在宅看護学方法論Ⅰが既習であることが望ましい。		
予習・復習		予習：該当するテキストの箇所を読み、配布された資料を確認する。授業内で小テストや事前課題を課すことがある。それ以外で評価対象の課題あり。		
テキスト		新体系看護学全書 地域・在宅看護論 メヂカルフレンド社		
参考書・参考資料等		在宅看護過程第2版、メヂカルフレンド社、写真でわかる訪問看護アドバンス、インターメディカ		
学生に対する評価		定期試験（60%）、授業内課題（30%）、出席態度（10%）により、総合的に評価する。※本授業の終了時にはポートフォリオに基づく授業参加に対する振り返りを行うこと（ポートフォリオの内容は評価に含めない）。		